

平成25年9月18日

有明海沿岸道路の「付加車線」開通のお知らせ

～利用者増に対応した当面のサービス向上策～

概要

国土交通省福岡国道事務所で整備を進めている、有明海沿岸道路 おおむたきた くろさき **大牟田北IC～黒崎IC間の「付加車線」（下り線（柳川方面）約1.8km）**が、**平成25年9月25日10時に開通**しますのでお知らせします。（上り線は、平成25年1月から供用中）

有明海沿岸道路は、ネットワークを早く繋げるために、現在、暫定的に2車線（片側1車線）で整備を行っております。しかし、交通量は開通当初の約2倍となるなど利用者の大幅な増加や、事故による長期通行止めの発生といった課題も生じており、地域からは1日も早いサービスの向上を強く望まれています。

今回開通する「付加車線」は当面の対策として実施するもので、この開通によって大牟田北ランプから本線への合流をスムーズにするなど、より円滑な車の流れと安全性の向上を目指すものです。

有明海沿岸道路は、年明け以降の景気回復等により、交通量が更に約10%増加するなど、ますます多くの方々が利用しています。是非とも安全運転での有明海沿岸道路の利用をお願いします。

〈問合せ先〉

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

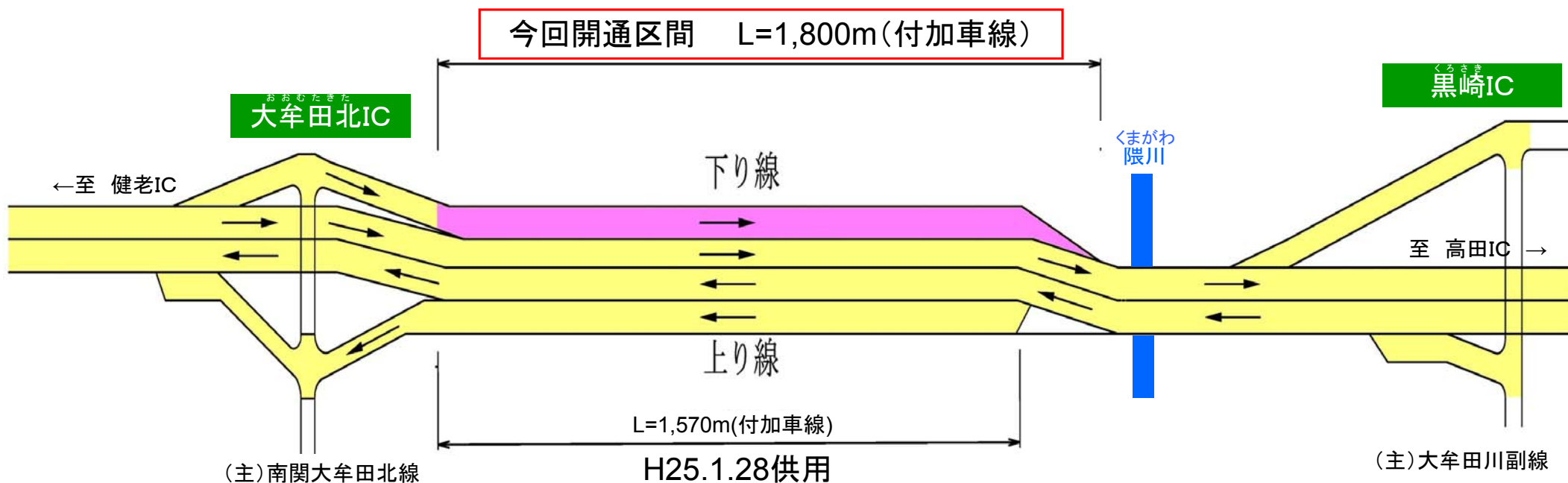
技術副所長 しらす まさひこ 白田 雅彦
TEL : 092-681-4731有明海沿岸道路出張所 建設専門官 いがり めいと 猪狩 名人
TEL : 0944-74-2930

福岡国道

国土交通省九州地方整備局
福岡国道事務所



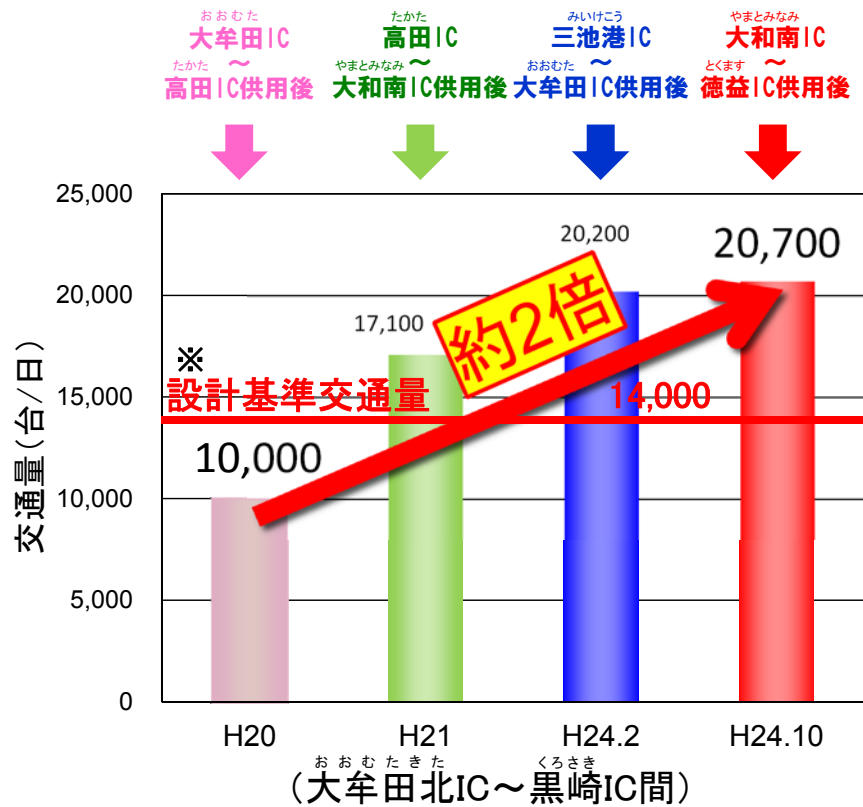
写真 供用中の付加車線(上り線)



- 本区間では、延伸に伴い交通量が大幅に増加。
- 暫定2車線で整備されているため、事故が発生した場合には長時間の通行止めが発生。

■ 交通量

開通当初に比べて、約2倍の20,000台/日以上
の交通量



※2車線(上下片側1車線)で交通が円滑に流れる台数

交通量は、7～19時の12時間交通量(実測)に昼夜率を考慮した日交通量

■ 事故による通行止め

今年4月の事故では、約4時間にもわたる
下り線全面通行止めが発生



◇事故の例

- ・ 発生場所：大牟田北IC～黒崎IC (下)
- ・ 交通規制：下り線全面通行止め (約4時間)

- 有明海沿岸道路で最も交通量の多い健老IC～大牟田北IC間では、昨年9月に開通した大和南IC～徳益ICの延伸直後には、約22,900台/日(開通当初の約2.2倍)の交通量となっている。
- また、年明け以降、交通量は景気回復等により更に約10%増加(H25.8)している。

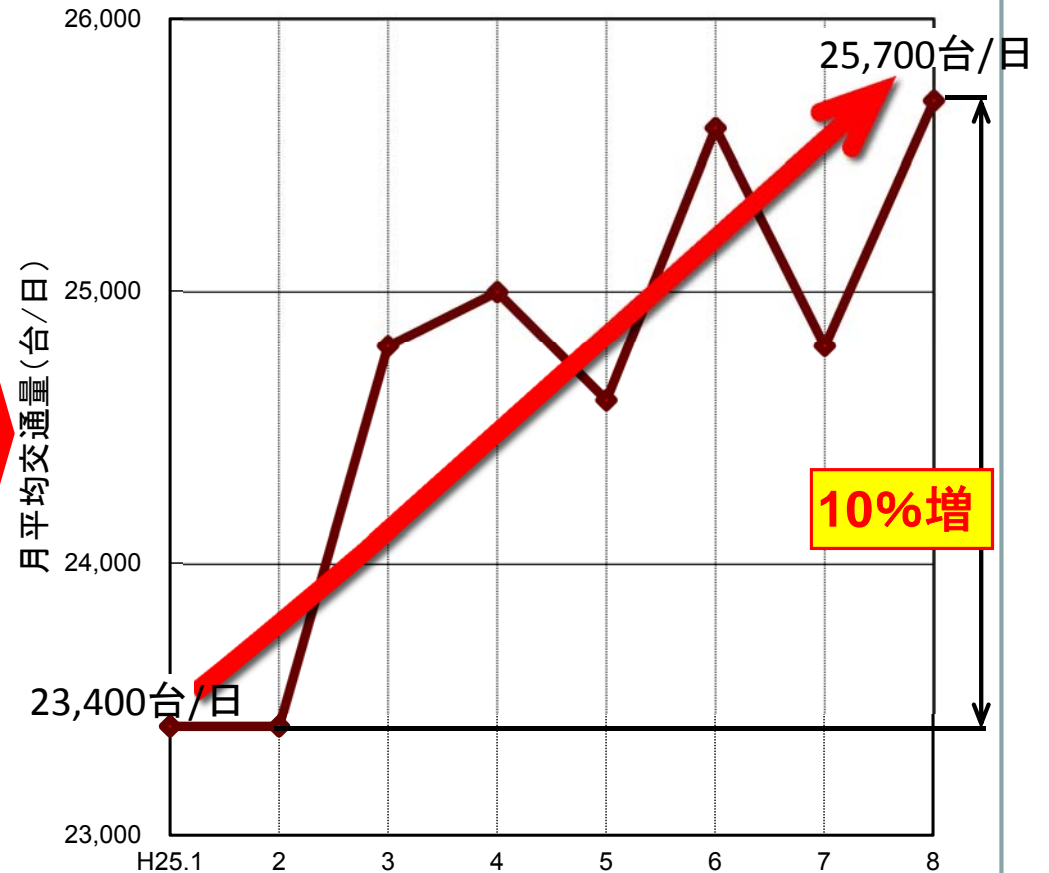
■ 開通当初～延伸直後(H24.10)



※2車線(上下片側1車線)で交通が円滑に流れる台数

交通量は、7～19時の12時間交通量(実測)に昼夜率を考慮した日交通量

■ H25年明け以降(H25.1～8) (お盆期間は最大で約28,000台/日を記録)



月平均交通量は、CCTVを用いた画像解析処理による12時間交通量(異常値を除く平日の平均)に昼夜率や過去の調査の補正率を考慮して、日交通量としている。